



自然の中で思いっきりあそぼう

おもしろたのし みえこども園



5歳児『僕たちの畑を耕す耕運機！おじちゃんありがとう！』

保育目標

- いろいろなことに興味をもって、意欲的に立ち向かっていく子ども
- 心も体ものびのびと元気で遊べる子ども
- 思いやりのある子ども



さくらんぼ組：0歳児

さくらんぼ組：1歳児

いちご組：2歳児

心も体もどんどん生長し
発達していく時期

歩くことを楽しみ、手や指を
使った遊びや話し言葉が始ま
る大切な時期

「もっと～したい」をばねに
して心身共に心も体も大き
くしていく時期

脳の重さが出生児の2倍

「自分」を表すようになる

イヤイヤ期



腹ばいになって上半身を支えたり寝
返りやハイハイ、つかまり立ちがで
きるようになったりと全身が発達す
ると共に自分の思いを相手に伝える
「交流する力」が芽生えてきます。
その基盤となっているのがお家の方
や保育教諭から受ける愛情です。

お子様の心の支えとなるよう、一人
一人の表情、喃語、指さし等の自己
表現にしっかりと答えながら健康に
配慮した室内環境を整えると共に日
々「やってみたい」「楽しい」「面
白い」「まだやりたい」など月齢や
発達に応じた遊びを展開していき
たいと思います。



自分の思いを押し通そうとして‘だだをこ
ねる’姿が始まります。その思いをストレ
ートにぶつけてくるので周りの大人は大変
ですね。保育教諭は、思いを受け入れ、
「〇〇したいんだね」と言葉に代えて思い
が伝わったことを知らせます。その上で良
いことならどんどん経験させてあげるよ
うにします。逆にしてはいけないことなら
‘だだこね’につきあい、だっこやおんぶ
をしながら気持ちが落ち着くのを待ちま
す。さて、‘だだこね’に有効なのはお日様
の下でたくさん歩くことです。それは、心臓
や筋肉の運動ということだけではなく自己
を表現し、自我を育てる営みでもあります。
例えば、園の小庭を歩くと、小鳥のさえずり、
虫の音、野花と感性を刺激する気付きや発
見がいっぱいあり、興味をもったことに指
さしをし、「あー」「チャン」など音声し
て周りの大人に伝えようとしています。そう
いったことで子どもの心を安定させ次第に
‘だだこね’が少なくなっていくのです。
ですから、園ではたくさん自然に触れなが
ら歩くことを大切にしたい保育をしています。

同じ組の子、異年齢の組の子、保育
教諭と周りからよい刺激を受け、も
っとこうしたいという思いが芽生え
てきます。「イヤ」「モット」だけ
聞くと、反抗的に聞こえますが、挑
戦しようとする大切な意欲であり、
この豊かな体験が逆境に強く自信を
もって行動しようとする力に繋が
ります。具体的には、食事で苦手な
ものを食べてみようとする、排泄でオ
ムツがはずれトイレに行く、着替で
簡単な服を脱ぎ、パンツやズボン
を履く等の「身の自立」はもちろん
のこと、山登り、かけっこ、鉄棒の
ぶら下がり等「自分で!」「自分も
!」「自分が!」と周囲を真似てや
ってみようとしています。その意思表
示を受け入れ、認め、3歳に向けて自
分を伸び伸びと表現できるよう納得
するまで側で見守り時間かけて関わ
っています。園外にもどんでんか
け「やってみたい」思いを引き出し
思いっきり遊んでいます。



ぶどう組：3歳児

「これ何?」「何で?」と好奇心旺盛な時期

やると決めた事はやり通したい



会話が弾み、好きな友達と遊ぶようになり、身の回りの事も大体できるようになってきます。そんな中で、「ちょっと難しいけれどもやってみよう」と自分を励まし、すると決めた事は粘り強く挑戦しようとする姿がでてきます。この発達を大切にしながら、全身を使った遊びや集団遊びを通し、達成感を味わうことで次の意欲に繋がるようにしています。生活面でも同様にもう一步という所を丁寧に伝えながら関わっています。それでも、こうしなければならぬと分かっているにもかかわらず自分を知ると、泣いたり、大声を上げたりしてしまう事があります。それは「自ら立ち直る力」を育む大切な行動です。保育教諭も一緒にその気持ちに向き合い、それをくぐりぬけ乗り越える経験を積み重ねていけるように関わっています。また、自然の中で思いっきり遊びながら好奇心を刺激し考える力を育てています。

めろんぱな組：4歳児

何にでも挑戦しようとし嫌なことでも前向きに変えていけるようになる時期

友達関係の拡大

諦めず粘り強く頑張れるようになると共に、我慢する力もついてくるこの頃、様々なことに挑戦し褒められることを励みに取り組み、自分に自信をもつようになります。「自分は大切な存在だ」という気持ちが持てるように、一人一人に愛情を持って関わっています。また、集団生活に必要な決まりを守ったりクラスのみんなでルールのある遊びを楽しんだりするようになってきますので、「約束を守ることの大切さ」もしっかり伝え就学前に繋げていきます。



子ども達が今取り組んでいることを思う存分楽しめるように、そして、新たな活動や遊びが生み出せるように、時には子ども達と環境を創り、時には保育教諭が仕掛け認め、励まし、見守っています。



みかん組：5歳児

自分自身を信頼する力を培う時期

小学校へ向かう力つく

友達関係が深まります。子ども同士で役割遊びやルールに基づく役割交代をしたり、勝ち負けのチーム遊びをしたりして楽しむようになります。また、友達関係の中でお互いの主張を聞きルールに基づいて判断する力がついてきます。更に段取りを立てて見通す力も身につくにつぎ、簡単な計画を立てることができるようになります。年下に対して自分の経験を語り、言葉で導き思いやりを持って接することができるようになります。このような力を引き出し伸ばすために同年齢児との活動と4歳児と一緒に過ごす班別活動をバランス良く行い、園の最年長としてリーダー的な意識を高めながら発想力、想像力、集中力、忍耐力、理解力、協調性等を培い自信を持って小学校へ期待が持てるように関わっています。



台所から



- ・栄養士による園独自の献立を立てています。
- ・食物アレルギーのお子様につきましては、保護者の方と担任・栄養士とで食事についての説明や相談を行い食事、おやつを提供をしています。
- ・おやつは、体にやさしいサンワールド社とフレーベル社のもの等を提供しています。また、手作りおやつは週に1～2回程度提供しています。

年間行事予定

※行事は諸事情により変更することがあります。

4月	入園式・家庭訪問・保護者会総会と保育参観
5月	内科健診・親子バス遠足・社会見学（就学前5歳児）
6月	歯科健診・就学前クラス懇談会（就学前5歳児）
7月	個別懇談・七夕会・お楽しみ会（就学前5歳児）・プール開き
8月	クッキング（収穫祭）
9月	プール納め・運動会（めろんばなな組・みかん組）
10月	運動会（ぶどう組・いちご組・さくらんぼ組）自由参観・父親参観 遠足・内科健診
11月	もちつき会（民族歌舞団花こまさんによる獅子舞や餅つきばやし） 市展見学・商店街見学（就学前5歳児）
12月	個別懇談・クリスマス会
1月	人形劇鑑賞会・親と子のつどい（さくらんぼ組・いちご組）
2月	豆まき・親と子のつどい（ぶどう組・めろんばなな組・みかん組） ふれあいの日（ミニ発表会）
3月	お別れ会・保育納め・卒園式（就学前5歳児）

- ・避難訓練…毎月
- ・誕生会…毎月
- ・身体測定…3. 4. 5歳児は2ヶ月に1度、0. 1. 2歳児は毎月
- ・毎月10日はノーテレビデー
- ・ぴよんちゃんクラブ（交通安全指導）…2回

畑の計画

4月	うね作り
5月	秋野菜や夏野菜の苗植え・葉物野菜の植え
6月	葉物野菜の収穫
7・8月	夏野菜の収穫
10月	秋野菜の収穫

※クラスの活動内容によって冬野菜を育てることもあります。



社会福祉法人みえ福祉会 おもしろたのし みえこども園
幼保連携型認定こども園 理事長/田口純生
園長/岡藤光代

〒668-0811 兵庫県豊岡市鎌田116番地

TEL 0796-24-0462

Fax 0796-22-2468

● ホームページ : www.miehoikuen.com

● メールアドレス : info@miehoikuen.com